



日台稲門会 ニュースレター 8月号 (2021年7月25日発行)

会報担当：橋本紀明／hashimoto.inforia@gmail.com

日台稲門会会員・会友の皆様

日台稲門会ニュースレター8月号をお届けします。オリンピックが始まりました。日本だけでなく台湾チームも活躍して、雰囲気をもてくれるのではないかと期待しています。

1. 台湾のオリンピック

■ 過去の台湾のメダル獲得数 (敬称略) (Wikipedia より)

- 金 5 個 2004 年アテネ テコンドー女子 49kg 級の陳資欣
2004 年アテネ テコンドー男子 58kg 級の朱木炎
2008 年北京 ウエイトリフティング 女子 48kg 級の陳葦綾
2012 年ロンドン ウエイトリフティング 女子 53kg 級の許淑淨
2016 年リオ ウエイトリフティング 女子 53kg 級の許淑淨
- 銀 7 個 1960 年ローマ 十種競技の楊伝広
1992 年バルセロナ 野球
1996 年アトランタ 女子卓球シングルの陳静
2000 年シドニーウエイトリフティング 女子 53kg 級の黎鋒英
2004 年アテネ テコンドー 男子 68kg 級の黄志雄
2004 年アテネ アーチェリー 男子団体の陳詩園、劉明煌、王正邦
2008 年北京 ウエイトリフティング 女子 63kg 級の盧映綺
- 銅 12 個 1968 年メキシコ 80mハードル紀政
1984 年ロサンゼルス ウエイトリフティング男子フェザー級の蔡温義
2000 年シドニー テコンドー 男子 58kg 級の黄志雄

2000 年シドニーテコンドー 女子 49kg 級の紀淑如
 2000 年シドニー 卓球 女子シングルの陳静
 2000 年シドニー ウエイトリフティング 女子 75kg 級の郭羿含
 2004 年アテネ アーチェリー 女子団体の陳麗如、吳蕙如、袁叔琪
 2008 年北京 テコンドー 男子 58kg 級の朱木炎
 2008 年北京 テコンドー 男子 68kg 級の宋玉麒
 2012 年ロンドン テコンドー 女子 57kg 級の曾櫟騁
 2016 年リオ アーチェリー女子団体の林詩嘉、譚雅婷、雷千瑩
 2016 年リオ ウエイトリフティング女子 58kg 級の郭婞淳

台湾は、過去にテコンドー、ウエイトリフティング、アーチェリーで好成績をとっていましたが、東京オリンピックでは、参加選手は男子 52 名、女子 67 名の計 118 名。中でもバドミントン女子シングルの^{たいしえい}戴資穎選手にメダルが期待されています。応援を宜しく願います。



(戴資穎さん 写真：時事ドットコムニュースより)

< 7 月 24 日 速報 >

男子柔道 60kg 級決勝で日本の高藤直寿さんと戦った楊勇緯さん (23 歳) は、惜しくも敗れたものの、柔道で台湾初のメダル (銀) を獲得しました。楊さん、おめでとうございます。台中出身。新民高校 (台中市) ⇒ 國立臺灣體育運動大学 (台中市)



楊 勇緯



競技

柔道

生年月日

1997 年 9 月 28 日

(写真：時事ドットコムニュースより)

2. 最近の台湾関連ニュース

■令和3年度防衛白書

本年度の防衛白書は、昨年までと異なり、中国に台湾を含めない図が採用されていた。(昨年まではあいまいだったが、今年ははっきり中国から除かれていた)

<https://www.mod.go.jp/j/publication/wp/wp2021/pdf/R03010202.pdf>

2020年度版

図表 I -2-2-4 中国軍の配置と戦力 (イメージ)



2021年度版

図表 I -2-2-4 中国軍の配置 (イメージ)



この防衛白書の方針変更は、岸防衛大臣と中山副防衛大臣によるところが大きいと思われる。

■中山副防衛相「台湾は兄弟で家族」＝米シンクタンクの討論で言及 (フォーカス台湾 6/29 より引用)



中山泰秀防衛副大臣は28日、米シンクタンク、ハドソン研究所のリモート討論で、日台関係について、「台湾は友人ではない。兄弟であり、家族だ」と述べた。中山氏は「民主主義国家としてわれわれは台湾を守らなければならない」と強調。

米国や世界各国が1970年代からとってきた「一つの中国」政策について、あれから50年経った現在から見て、当時の決定は「正しかったのか」と疑問を呈し、「それは分からない」と話した。

中山氏は、台湾の安全保障上の脅威を日本は自国への脅威だと考えているのかとの問いに対し、日本と台湾は地理的に近いと言及した上で、台湾を友達よりもより親密な「家族」だと形容し、「台湾に何か起これば、それは沖縄県に直接的に影響を与える」と指摘。沖縄に米軍基地や施設があり、軍人の家族らもいることに触れ、「現在、中国軍からの脅威を受けている台湾問題に焦点を当てる必要がある」と述べた。

また、中国の戦闘機開発や核保有などに言及した上で、中国の力が強まってきていると指摘し「われわれは目を覚ますべきだ」と訴えた。

■日本、7月15日に三回目となるワクチン97万回分を台湾に搬送 (産経新聞より)

■台湾積体回路製造(TSMC)と鴻海精密工業、ワクチン提供 (ロイターより)

両社は、7月11日に合わせて390億円分1000万回分ワクチン(独ビオンテックと米ファイザーの共同開発)を香港の中国系製薬会社の子会社から購入し台湾政府に無償提供することを決定。9月中に到着予定。

■台湾製コロナワクチン 緊急使用許可 (7/20 NHK、産経新聞より)

台湾衛生福利部(厚労省)は、台湾の製薬会社、高端疫苗生物製剤(メディージェン・ワクチン・バイオロジクス)が開発した新型コロナウイルスワクチンに緊急使用許可を出した。第二段階の臨床試験を終了したが、ウイルスの働きを抑える中和抗体の増加の程度がアストラゼネカのワクチンに劣らず、安全性にも重大な懸念がないとして、19日、20歳以上の人を対象とした緊急使用を許可した。8月から供給が開始され、年内に1000万回の生産を目標としている。

■台南に台湾唯一の牛肉麵自販機—台南市日本人協会のサイトから (梶山憲一さん)

台南市の富農街には、台湾で唯一だとうたった牛肉麵の自販機「富農街麥擋路機器人牛肉麵」がある。店には、オーナー自らが自販機に改造した車が1台。50元硬貨（200円弱）を入れると、ほどなくカップに入った牛肉麵が出てくる仕掛け。

こんな楽しい台南情報が満載なのが、この6月に成立したばかりの「社団法人台南市日本人協会」のホームページだ（サイト下記）。トップページに「台南をより暮らしやすくするための日本人協会」とあるように、居住者向けのサイトともいえるが、観光客にも役立つ情報がたくさん掲載されている。

早く台湾へ、台南へ旅行したいものだ。（梶山憲一）

（台南市日本人協会のサイト <https://tainan-jp.com/> ）



台湾唯一をうたった
牛肉麵自販機

3. 講演会感想 『のび太としずかちゃん』(小川英郎さん)

六月中旬(6/19)、感染者ほぼゼロの山形市にて、私も理事の一員である一般社団法人日台政策研究所の講演会にスタッフ兼リアル参加者として行って参りました。講演者は産経新聞論説委員の河崎真澄氏。テーマは「台湾の存在感と海峡有事」。

講演内容はまた機会があればご紹介するとして、ここでは河崎氏お得意の『北東アジアの構造をドラえもん登場人物になぞると・・・』を紹介します。

ドラえもんの登場人物は次の通りですね。

- ① のび太
- ② ジャイアン
- ③ しずかちゃん
- ④ スネ夫
- ⑤ ドラえもん



北東アジアの国々とアメリカ

- ア. 日本
- イ. 国名 C
- ウ. 台湾
- エ. 国名 K か 北〇〇
- オ. 米国

1. 小学生なのに、体格も声も大きいジャイアンはオレ様主義。得意なセリフは「お前のものは俺のもの、俺のもの俺のもの！」(皆様の想像する国と私も同じです笑)
2. ジャイアンにいじめられるのび太はどこの国？
3. のび太には好きな女の子がいる。そう、しずかちゃんだ。
4. しずかちゃんも、のび太に好意は持っているようだが、問題はジャイアン。ジャイアンはしずかちゃんを自分のモノにしたいと考えている。かなり強引な手を使って。しずかちゃんは強引なジャイアンが苦手だ。しずかちゃんは「台湾」！？
5. ドラえもんを米国としよう。
6. のび太は困った時すぐにドラえもんに頼る癖がある。
7. のび太はドラえもんの力を借りてしずかちゃんを守りたい。相思相愛の関係になりたいと思っている。
8. スネ夫、基本ジャイアンと徒党を組んでいる。のび太に意地悪してくる。但し、スネ夫も時々ジャイアンにいじめられる。よってスネ夫は「エ」だ。
9. 最近、ドラえもんのジャイアンに対する眼つきがキビシクなっている。しずかちゃんの家まわりに船を出してジャイアンが近寄らないようにしている。

～というように、とまらなく展開可能である。

講演当日、私は河崎氏に「このネタはまだしばらく使えますね！」とお話したら自信と自慢？(失礼！)で頷きを返して頂いた。

講演翌日、スタッフを含め河崎氏と私は、西藏王の共同浴場で汗を流した。

この原稿には多数、河崎さんネタを引用させて頂いたが、西藏王の共同浴場で汗を流した

間柄として水に流して頂きたい。

まとめとしては、のび太も、いつまでもドラえもののひみつの道具に頼るだけではのび太に未来はない！

（追伸）最近バリエーションとして、のび太の家の『二階』に住むおじさんが居たことがわかった！そして時々登場する。もうみなさんどなたもお分かりですね。
続きは、にかい じゃなく次回！？ （小川英郎）

4. 経済ニュース（劉彦甫さん）

今月の劉彦甫さん（WISA 出身で現在東洋経済新報社記者）の署名記事を紹介します。

（劉記者の記事は、下記サイトを参照）

<https://toyokeizai.net/list/author/%E5%8A%89+%E5%BD%A6%E7%94%AB>

■パナソニックとソニー、10 年で大差ついた稼ぎ方

——かつてのライバルがたどった道から見えること——

数年前までは、ソニーらしさが消えたソニーと言われていましたが、どうなるか、ソニーと不安がありました。一方、今は苦しさが目立つパナソニックだが、また手堅いパナソニックになるはずと期待がありました。しかし、ソニーはここ 5 年ほどに大きく、変身を遂げる動きをしてきました。両者を分けたものはなにかを説明しています。

<https://toyokeizai.net/articles/-/438937>

5. 台湾時代の思い出（渡邊義典さん）

■芝山巖 芝山巖学堂 六士先生の墓（その3）

芝山巖東方の芝山巖学堂（今は読書室）の一段下の平地に「学務官僚遭難之碑」という 2メートルを超す大きな石碑があります。

私が見ていたのは 20 年も前のことですから今もこの石碑が残っているかはわかりません。

この碑は 1896 年に時の首相・伊藤博文の台湾視察の時に揮毫して建立されたもので、碑面の文字は風化して読み取るのが困難ですが、かろうじて判読できる内容は下記のようなのです。

芝山巖事件として有名なので皆さんご存知の通りです。

1895 年（明治 28 年）に台湾総督府学務部が設けられ「殖民地教育」に着手しました。

日本語教育のために内地から志願した教員 7 人がこの地へ来て「芝山巖学堂」を建て日本語の教育を始めたのでした。なかなか日本統治になじめない台湾の人たちの中からやっと 31 人の学生を集めて日本語の授業を始めたのでした。しかし日本に対する反感はやまず、翌年 1 月 1 日に総督府の新年会に参加するために芝山巖を出た 6 人の教員が待ち伏せ襲撃に遭い殺されてしまいました。

この事件に因み日抛時代は芝山巖神社が建てられ教育の聖地とされました。

6 人の教員を顕彰するために建てられたのが「学務官僚遭難之碑」です。碑文は経緯の説明と功績をたたえ殉職した 6 名の身分・氏名を刻んでいます。「群馬県平民・中島長吉、東京府平民・桂金太郎、山口県士族・井原順之助、山口県華族・楫取道明、熊本県平民・平井数馬、愛知県士族・関口長太郎」と読めます。そして「内閣総理大臣・大勲位公爵・伊藤博文」という署名も読めます。

どうして 100 年以上も昔の、しかも日本時代の石碑が今も残っているのか、案内板にはこう書かれています。（案内板が今も残っているのかわかりません）

事件の経緯の説明の後「戦後になって植民地化に反抗した人たちの事績を記念して『芝山巖事件之碑』が建てられた。しかし 2001 年に公園整備のためこの碑を別のところに移すとともに、草叢に放置してあった『学務官僚遭難之碑』をもとの位置に建て直した」と説明し、さらに「歴史認識は立場によって違う。我々は事実のみを国民に知らせるために『原地保存の原則』によってこの措置をとった」と記されています。

また、公園の歴史を説明した別の案内板には「この地に日本の植民地化初期の頃『日本語伝習所』があった。『芝山巖学堂』と言い、次いで『国語学校第一付属学校（国語とは日本語のこと）』となり、さらに『八芝蘭公学校』となり、現在の『士林国小』に至った」と連綿と続く学校の歴史が説明されています。さらに別の案内板には「昔この地は『八芝蘭』という地名であった。日抛時代にここに学堂を建てた。ここから多くの『士』が『林』のごとく輩出することを理想として『士林』と呼ばれるようになった」と地名の由来を説明してあります。

それで私の住む「士林区」の由来を知った次第です。（渡邊義典）

■言葉を使うの意味

6月29日の産経新聞に『台湾に「李登輝」は5人いた』という河崎真澄さんのコラムが載っていた。李登輝さんは日・華・英・台・客という5つの言語で考え、戦略を立てて行動したというものだった。

台湾も3年ほどすると電車の車内放送が自然に耳に入ってくるようになった。北京語、台湾語、客家語、英語の順で流れ、そのテンポが非常にいいのである。年配の人になぜ客家語が流れるのか聞いたら、鉄道では、昔から客家人の職員が多いためということだった。意味があったのだ。日本でも街角の表示は、日、英、中、韓となっている。中文表示は簡体字が多いが、私には、子供の落書きのような感じがして、愛着を感じない。ただ、新橋―豊洲間を走る『ゆりかもめ』だけは繁体字（正字）。20年以上前だが、石原都知事もなかなかやるじゃないかと思った記憶がある。これも意味があつてのことだったかも。最近、詩吟を習っているが、詩吟に出てくる漢字はほとんどが繁体字（正字）。残念ながら私は、簡体字だと漢詩はしっくりこない。古き良き唐代を冒瀆しているように感じるためである。シンガポールは簡体字を使い、香港も近い将来簡体字になるかも知れないが、日本人のセンチメンタルからして日本では、漢詩や詩吟では繁体字（正字）はなくならないと思う。街の中国語標識も全部、繁体字（正字）にしたら、もっと重みが出るのにと感じるのは私だけではないはずだ。（橋本紀明）

■インターネット放送の将来

湾駐在を始めた翌年の1996年に女房がパソコンでZAKZAKという日本の芸能ニュースをネットスケープで検索しているのを見て、日本から送ってくるビデオテープとNHK国際ニュース、国際電話で日本の情報をとっていたが、そこから変わった。あれから25年経つが、最近また不思議なことを感じ始めている。関西でしか放送されない『正義のミカタ』とか『そこまで言って委員会』をYoutubeで時々見るだけでなく、最近、『虎ノ門ニュース』もその対象となってきた。テレビで放送されたらBPOから一発でレッドカードをくらうのではないかと思うほど過激だが、通勤時間中に視聴するにはちょうどいい。テレビは、当たり障りのない、最大公約数的番組しかないが、インターネット放送では、as you likeでかつ裏情報ばかりしかないとためーテレビのワイドショーと比較しながら見ると意外に面白い。近い将来テレビからインターネット放送に代わるのではないかと感じるこの頃である。（橋本紀明）

6. 注目の台湾関連新刊本紹介（6月発売）

■「彼岸花が咲く島」第145回芥川賞受賞（^{りことみ}李琴峰）（文藝春秋）（6月25日刊）
（税込1,925円）

記憶を失くした少女が流れ着いた島は、ノロが統治し、男女が違う言葉（ニホン語、女語、ひのもとことば）を学ぶ島だった。3つの言葉が、衝突したり共鳴しあったりと一。不思議な世界、読む愉楽に満ちた中編小説。

ひらがな、カタカナ、漢字という3種類の文字を使う日本語を15歳から学び、その魅力から発想した作品。台湾大学卒業後、早稲田で学ぶ。



（PR PRIME より）

^{りことみ}

●李琴峰さんのツイート炎上、台湾での反応（柯嘉馬さん）

台湾で15歳から日本語を学びはじめ、台大を経て早大院日本語教育研究科修士課程を修了し、先ごろ芥川賞を受賞した李琴峰さん。以前ツイッターに出した安倍晋三前首相や在日台湾人団体への批判がネット上で炎上、炎上したツイートの文を書き直したが、ついにはツイートを非公開にしてしまった。

この炎上は台湾でも報道され、ネット民の注目を集めることになった。

そのネット民の反応といえば、「日本では外国人なんだから、政治的な批判するなんて不適切だ」「外国の首相だった人に対して、呪うような言葉を投げるなんて信じられない」「ツイートを非公開にするなんて、自分の発言には、もっと責任を持って」と、批判的なものが多かったが、一部には、「文学と政治的な立場は別々だ」「この事態を乗り越えろ」と李琴峰さんを励ますものもあった。

私の感想はといえば「どんな政治的な思想をもとうが自由だが、作家なんだから、もっと気の利いた言い方を考えればよかったのに」というものだ。（柯嘉馬）

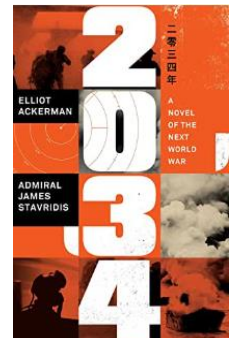
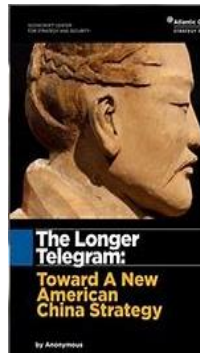
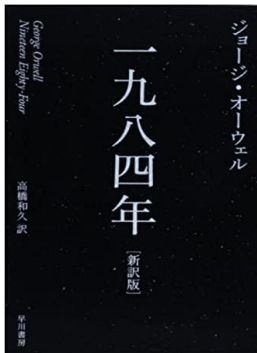


■『1984』と対中国外交策の『新X論文』、『2034』

大学生の頃、ジョージ・オーウェルの「1984」を読んだが、またブームだという。

「1984」は、世界が三つ（三大国）に分かれ、お互いに合従連衡を繰り返しながら世界制覇を狙うが、本音は国民の目（不満）を外に向かわせるため、戦い続けることが必要。また国民を支配層、準支配層、一般市民の三階層に分け、反乱を押さえようとするのだが、一般市民はすでに洗脳されているので大きな対策は不要。準支配層にクーデターを起こさないよう（秘密裏に）監視することが必要というものである。この本が書かれた1948年には、ソ連を暗に批判するものであったが、最近の世界情勢をみると、中国の方が当てはまるのではないかと思ってしまう。1978年には、アンソニー・バージェスが「1984」を意識した「1985」という本を書いている。「1984」の主人公は、最後に脳に電気ショックを受けて完全に狂うため、そこで終わるのだが、「1985」には新しい主人公が登場する。個人の自由がないという点では、「1984」と同じだが、同書が発行された1978年は、イギリスで労働運動が最高潮に達していた時期のため、労働党政権下の悲惨な社会を描いている。ただし、80年代初期にサッチャーが登場し、労働党政権を倒したため、バージェスの予言は外れたと言える。最近、中国がGDPでアメリカを抜く2030年頃を意識した「2034」という本が出版され評判になっている。第二次大戦後の米ソ対立をテーマにしたジョージ・ケナンの「X論文(Long Telegram)」(1946)以来ではないかと言われた中国を対象とした匿名の「新X論文(The longer Telegram)」(Atlantic Council 社、無料ダウンロード。下記)が発表されて評判になったが、最近は、米中戦争というもうすこし露骨な「2034」(税込み3,134円)が出版されている。('The Longer Telegram' と「2034」はまだ邦訳なし)

(<https://www.atlanticcouncil.org/wp-content/uploads/2021/01/The-Longer-Telegram-Toward-A-New-American-China-Strategy.pdf>)



7. 第 25 期定期総会議事承認について（梶山幹事長）

■【参照資料】第 25 期定期総会議案一覧（※氏名は議案書の作成者）

第 1 号議案 2020 年度事業報告 幹事長 梶山憲一

第 2 号議案 2020 年度決算報告 会計担当 川村淳一

（2020 年度会計監査報告 会計監査 神田正治）

第 3 号議案 2021 年度事業計画 幹事長 梶山憲一

第 4 号議案 2021 年度予算案 会計担当 川村淳一

第 5 号議案 今期の役員（幹事等） 幹事長 梶山憲一

●総会総括：

*第 25 期定期総会は、新型コロナウイルス感染症の広がりと大学校友会の意向を受けて、昨年同様実際に集う総会を行わず、電子メールを用いた総会といたしました。

6 月 26 日（土）、それ以前の幹事会において審議・承認された総会議案書を会員・会友宛に発信し、7 月 8 日（木）まで 12 日間の猶予を設けて、議案書について会員・会友からの異議やご意見を待ち受けました。その結果、第 1 号議案から第 4 号議案（下記議案一覧参照）については、原案どおり承認されました。

第 5 号議案については、ご意見（要望）と異議が計 2 件寄せられ、7 月 10 日（土）にオンラインで行われた定例幹事会において審議されました。

その結果、原案どおり承認され、ここに、日台稲門会第 25 期定期総会において、議案はすべて原案どおり承認されたことをご報告いたします。

加えて、次ページの別項において、第 5 号議案に関する審議内容をご報告いたします。

●第 5 号議案 役員案に関して

a) 各役員名に卒業年度と学部とを入れてほしいという旨の要望が寄せられました。

【審議結果要旨】上記に関して、地域稲門会の名簿等には各人の卒業年度と学部とが付記されていることが一般的であり、当会の以前の名簿にも付記されていました。しかし、当会の定期総会議案書に記す役員名には、煩雑さを避けるため例年付記していません。

したがって、議案書においては現状のまま継続します。

ただし、その他のことでは必要に応じて、会員（役員を含む）に関して各人の卒業年度と学部とを付記することもあるのは言うまでもありません。

【追記】今年度から始めた月刊のニュース・レターで、役員など会員・会友の紹介欄を連載できないかと企画中です。実際に会う交流ができないなか、互いの顔が見えるようにすることは大切だと思います。 ※「追記」の文責＝幹事長・梶山憲一（1978 社学卒）

b) 第 5 号議案の副会長の案に反対意見が寄せられました。それは当会の革新と拡充のために、①会長・副会長の若返り化 ②会長に商社出身者が続くのを避ける という現状打破が必要であるというものでした。提起者は、小川英郎幹事でした。

【審議結果要旨】小川幹事が審議の場で話した提起に関するエピソードは以下のようなものでした。

「この提起は、副会長に推された根本幹事個人の人物に異議があるものではありません。これは、2019年11月に高橋徹元幹事長（2021年3月逝去）とともに台北にいた際、ホテルで《今後の当会人事》について2人で議論したことです。現会長は商社出身ですが、根本幹事も商社出身です。副会長になるということは、次期会長との見方もあって、商社出身者が続く可能性が大といえます。故・高橋元幹事長も商社出身でしたが、当会はこれから若返りとともに、商社出身者だけで重要なポストを占めないようにしていくことが大切だという考えをお持ちでした。私（小川）の提起が取り上げられるとは考えていないが、故人の考えを伝えて遺すために提起しました」と。

この提起にある「会の若返り化」というか、若い会員や幹事を獲得していくことが当会の大きな課題であることは、以前から幹事間の共通認識でした。近い将来、会長などのポストに、より若い世代が就き、現幹事の年長の者は若い世代をサポートする側に回っていくことも考える必要があるでしょう。

そして、会長に商社出身者が続くという在り方は、ほかの一般の台湾関係団体の会長にビジネスマン出身者が比較的少ないという点からは、当会の特色ともなっているという面もあるとの意見もありました。しかしながら、昨今、日本からは新たな多くの業種が台湾に進出するなど日台関係はより多様化しており、当会も、今後はその多様化に対応していくべきなのは念頭におく必要があるでしょう。

審議の結果、第5号議案は賛成多数でそのまま承認されましたが、上記のような若返りと多様化への対応という点は確認しておきたいと思います。

台湾に関することでしたら、何でも結構ですので、投稿をお願いします。また皆さんが撮られた台湾の写真がありましたら、ニュースレターで活用したいと思いますので、ご協力ください。メールの宛先は、hashimoto.inforia@gmail.comです。

編集後記

■ これほどトラブルだらけのオリンピックって過去にあっただろうか。2013年に全員が英語とフランス語で完璧なプレゼンをし、滝川クリステルさんによる『おもてなし』でとどめ、誘致合戦を制した日本。しかし、①主催者である猪瀬都知事の辞任(2013)あたりからケチがつき、②最高の国立競技場をめざしたものの建設費が高額すぎてザハ・ハデット氏案の採用中止(2015)、③佐野研二郎氏のエンブレムデザイン模倣問題(2015)、④舛添都知事の辞任(2016)、⑤贈賄疑惑の武田 JOC 委員長辞任(2019)、⑥安倍首相体調不良で辞任、⑦新型コロナ禍によるオリンピックの1年延期(2020)、⑧女性蔑視発言の森喜朗大会組織委員長辞任(2021)、⑨渡辺直美さんの容姿侮辱発言の佐々木宏総合統括辞任(2021)。そして⑩大会2週間前に無観客試合決定(2021)、⑪いじめ問題発言で開会式楽曲担当小山田圭吾氏が大会1週間前に辞任(2021)、⑫2日前にユダヤ人ホロコースト発言の小林賢太郎氏が解任された(2021)。そして⑬プルーインパレスの事前演習時は成功していた五輪の輪が23日当日は雲に阻まれたのか、カラスモーク不足か、ぼんやりとした五輪しか描けず・・・と。しかし、何はともあれ開催できてよかったと思います。あとは、日本と台湾によるメダルラッシュを期待したい。(橋)